

第1章 交通の現状と課題

【交通の現状】

(1)公共交通

・市街地部は路線バス・市民バスによりバス路線網が密に形成。また大型商業店が運行する無料送迎バスあり。
ただし、道路混雑の影響を受け速達性や定時性に支障が生じている場合あり。
・車社会の進展により路線バスの利用者は年々減少傾向にあり、深刻な運転士不足も相まって公共交通をとりまく環境は厳しさが増大。

(2)自動車

・市街地と仙台市方面とを結ぶ主な幹線道路は国道4号と(都)七北田西成田幹線の2路線。
・市外への通勤・通学は約67%がマイカー利用であり、上記路線にこれらの交通が集中し慢性的な混雑が発生。
・仙台市域の将監トンネルも渋滞が顕著であり、仙台都市圏の地域中心核である泉中央方面へのアクセス性が低下。
・交通渋滞の発生は、交通事故の発生、環境悪化など種々の問題の要因となることが懸念。

【交通の課題】

(1)集約型市街地形成に向けた自動車依存型の交通体系からの脱却

過度にマイカーに依存する必要のない、利便性が高く環境負荷の小さい地域を形成することのできる交通体系整備が望まれる。そのためには、公共交通を地域で支えることが重要。

(2)高齢化社会を支える選択性の高い交通体系の実現

ドライバーの高齢化・運動能力の低下による移動手段を失う人々の増加にそなえ、高齢化社会に対応可能な交通体系の整備に早期に着手することにより、高齢者にとっても魅力のあるまちへと成長することが望まれる。

(3)多核連携型の都市圏構想実現を支援する

都市間交通軸の強化

多核連携型の都市圏構想の実現に向け、仙台都市圏北部地域の拠点間連携の強化および泉中央地区の拠点性の向上を支えるため、都市圏北部の拠点間を連結する交通基盤の強化が不可欠。

第2章 富谷市の目指す将来像

【基本目標】

「住みたくなるまち日本一」にふさわしい交通環境の実現

【交通の将来像】

将来像 1「さまざまな選択肢のある環境負荷の少ない交通環境の実現」
(マイカー依存からの脱却)

さまざまな移動の場面で、公共交通・自転車・徒歩などマイカー以外の多様な交通手段が選択できる交通環境を実現し、渋滞・事故・環境悪化などのマイカー交通に起因する問題が少ない「安全で環境への負荷の小さいまち」を目指す。

将来像 2「あらゆる世代の人がいきいきと活動できる交通環境の実現」
(高齢化社会への対応)

高齢者を含め、富谷で暮らす人・働く人・訪れる人の誰もが、不便・不快と感ずることなく移動ができる交通環境を整えることにより、「あらゆる世代の人がいきいきと活動できるまち」を目指す。

将来像 3「都市部、郊外部にすばやくアクセスできる交通環境の実現」
(地域間交流・連携の強化)

高度で多様な都市機能が集積する仙台市や、豊かな自然に恵まれ大規模な従業地という面をもつ大和町、大衡村など、多様な魅力を持つ周辺都市へのアクセスの利便性を高めることにより、様々なライフスタイルの人が生活の拠点とすることができる「魅力のあるまち」を目指す。

【将来の都市構造】

○都市拠点：明石台、成田、大清水地区

高度な機能を持つ商業施設・医療施設が立地し、図書館の設置予定があり、市全域や周辺都市からも人々が集う富谷市の中心となる拠点

○地域拠点：旧市街地

歴史的景観が残るしんまち地区があり、市役所、中央公民館等が立地し、住民や観光客等の人々が集う地域の拠点

○産業拠点：成田北地区、高屋敷地区

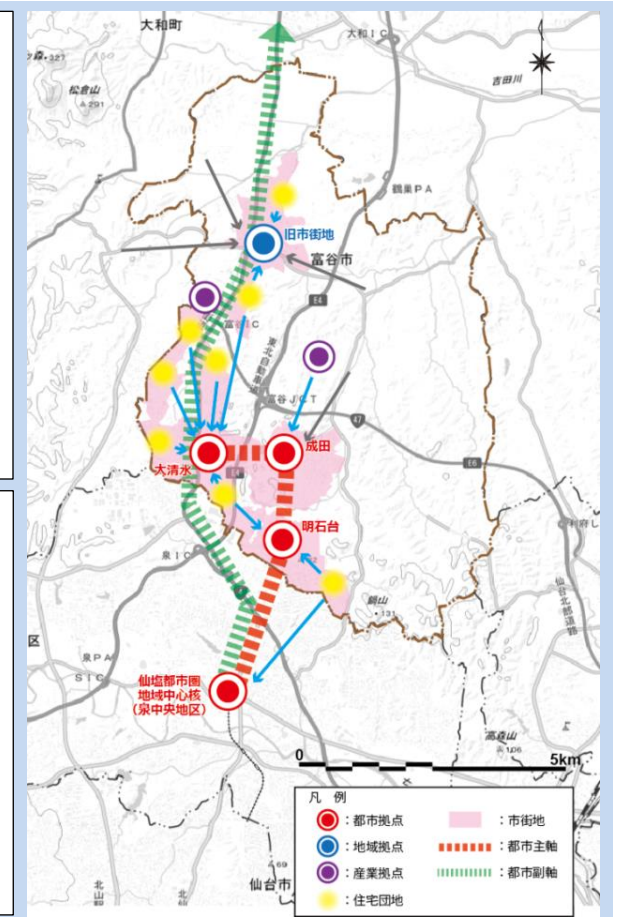
工業・流通業務機能の誘致促進、計画的整備を推進し、多くの就業者が集まる拠点

○都市主軸

泉中央地区と明石台、成田、大清水地区の「都市拠点」を連絡する都市の骨格となり、広域的な交流・連携を支え、過度なマイカー交通への依存からの脱却に向け公共交通の背骨を形成する軸

○都市副軸

面的に市街地が広がる市南部において、都市主軸から離れた区域の骨格として都市主軸を補完する軸、および、都市主軸と市北部や大和町、大衡村を連絡する骨格となる軸



第3章 将来像実現に向けて取り組む施策

基本目標、交通の将来像の実現に向け、将来の都市構造の形成を誘導するため、以下の施策に取り組む。

施策メニュー	対応する将来像		
	1	2	3
1. 幹線交通の強化	①新たな軸となる基幹公共交通の整備	○	○
	②基幹交通の拠点となる交通結節施設の整備	○	○
	③バス路線網の再編	○	○
	④公共交通の速達性・定時性向上に資する都市計画道路の整備	○	○
2. フィーダー交通の充実	⑤市民バスの再編	○	○
	⑥パーク・アンド・ライド用駐車場の整備	○	○
	⑦短距離移動を支援する新たな交通の導入	○	○
	⑧自転車利用環境の整備	○	○
3. 公共交通利用のしやすさの向上	⑨共通運賃・乗り継ぎ割引の導入	○	○
	⑩公共交通利用料金の補助	○	○
4. 移動しやすい交通環境の整備	⑪バス車両や歩行者空間のバリアフリー化	○	○
5. 環境負荷の軽減に向けて	⑫公共交通利用に係る啓発（MM）及び低炭素型まちづくりの推進	○	○

第4章 グランドデザインの実現に向けて

富谷市総合交通検討委員会を通じた進捗管理

・交通事業者、交通管理者、関係機関や市民代表等で構成する「富谷市総合交通検討委員会」を設置。
・施策の進捗状況や評価指標の達成状況の確認を継続的に実施し、必要に応じ適宜見直しを図る。

PDCAサイクルによる進捗管理と計画推進

・施策実施後の評価
指標の達成状況の
評価・検証を踏まえて、
適宜改善・見直しを行う
PDCAサイクルにより、
進捗管理を行う。

